



育生小だより

NO. 13

令和3年12月23日

学校教育目標 【自ら学び 心豊かな 健康でたくましい子の育成】

☆ 2学期の終業式! ☆

2学期は新型コロナウイルス感染症の影響で変則的なスタートになりました。いつもとは違う生活リズムが約1ヶ月続き、落ち着いて取り組むことが難しかった学年もありました。そのような中でも、社会見学や育っ子まつり、6年生の修学旅行、およそ2年ぶりとなる授業参観等、たくさんの大きな行事を行うことができました。毎朝の検温やマスク着用など、感染症対策の徹底をご家庭でもご協力いただきましてありがとうございました。

子どもたちには得意なことや不得意なことがあるかと思います。それでも育っ子まつりでお話させていただいた通り、子どもたちが力を合わせて一つのことを成し遂げるために一所懸命に取り組む姿はとてもかっこよく、今学期も多くの人にたくさんの感動を与えてくれました。子どもたちの持つ「やればできる力」を実感しました。多くの行事を通して子どもたちはその力をさらに成長させてくれています。子どもたちの大きく成長した姿を、ぜひ評価してあげてください。

いよいよ明日から冬休みです。今年は、子どもたちがお家で過ごす時間がいつもより多くなるのではないのでしょうか。各学年の通信等で「冬休みの生活」や「冬休みの宿題」をお知らせしています。めあてを持って時間を有効に・計画的に使えるように声をかけてあげてください。よろしくお祈りします。また、インフルエンザや新型コロナウイルス感染症、交通事故も気になる時期です。保護者の皆様も健康・安全に留意していただきお過ごしください。



☆なわとび強化月間が始まりました(1月21日まで) ☆

- ① 継続的になわとび運動に取り組むことで体力作りに励む
- ② いろいろな技や回数において各自目標を設定し、最後まで粘り強く取り組む

ことを目的に、今年も12月6日からなわとび強化月間がスタートしました。体育の授業や20分休み等を利用して行っています。金・銀・銅メダルの基準に到達すると、認定証が発行されて表彰されることになっています。多くの子どもたちが毎日精いっぱい練習に励んでいます。冬休みの宿題にもなっています。ご家庭でも励ましの声をかけてあげてください。



【12月29日(水)~1月3日(月)は学校閉鎖期間となります】

10代の子どもが育つ魔法の言葉



子どもの声に耳を澄ましてください

プレッシャーをかけ過ぎると、子どもは疲れてしまう

厳しいルールを押しつけられれば、子どもはルールを破る方法を探す

好き勝手にさせると、子どもは人の気持ちに鈍感になる

失敗を繰り返すと、子どもは自信を失う

約束を破られると、子どもは失望感を味わう

否定されると、子どもは苦しむ

ひとりの人間として大切にされれば、子どもは思いやりのある人間になる

親を信頼できる子どもは、本当のことを話してくれる。

大らかな家庭に育てば、子どもは考える力をはぐくむ

先のことを考えて行動できれば、自分の行くべき道が見える

責任感を育てれば、子どもは自分で考えて行動できるようになる

親が身体にいい習慣をもっていれば、子どもも自分の身体を大切にする

支えてあげれば、子どもは自分に自信をもつようになる

表現できる場をもてば、子どもは本当の自分を出せる

愛してあげれば、子どもは人を愛することを学ぶ

子どもを信じて見守れば、子どもはよりよい世界を目指して歩いてゆける

「10代の子どもが育つ魔法の言葉」(ドロシー・ロー・ノルト/レイチャル・ハリス著)より引用
(先輩の先生から紹介していただいたものです。)

10代の子どもたちの心は、大きく揺れ動きます。子どもたちの問いかけに、難しい判断を迫られることもあるのではないのでしょうか。そんな時、私たち教職員も保護者の皆様と一緒に考えて、微力ながらご相談にのれればと思っています。力を合わせて、子どもたちの成長を見守りましょう。

1年間ありがとうございました！